

第34回 六市対抗キャッチ旗争奪学童軟式野球大会 開催要綱

1. 主 催	愛知県軟式野球連盟 知立支部、株式会社キャッチネットワーク
2. 後 援	愛知県教育委員会、刈谷市・安城市・高浜市・知立市・碧南市・西尾市の 各市教育委員会、刈谷市スポーツ協会 中日新聞社、中日総合サービス
3. 開 催 日	2025年 5月10日（土）午前8:00～ ※雨天予備日 5月11日（日）
4. 会 場	刈谷球場(刈谷市城町1-49)
5. 参加チーム	軟式野球連盟の刈谷・安城・高浜・知立・碧南・西尾各支部所属 学童チームの選抜チーム
6. 参 加 資 格	・ 小学3年生～6年生の児童 ・ 令和7年度 愛知県軟式野球連盟に登録済の者 (選手は所属チームの市に在学・在住しているものとする) ・ 保護者の同意を得られたスポーツ傷害保険に加入済の児童 ・ 監督、コーチは18歳以上とする。 ・ 選手は1チーム20人以内とし、各支部選出のオールスターチームとする。 ただし選手は全てのチームから選出するのを原則とするが、1チームから 5人以内とする。
7. 試 合 要 項	・ 2025年公認野球規則にしたがって、トーナメント方式とする。 (グランドルールについては、審判員の指示にしたがうこと) ・ 本大会は 6回戦とし、試合時間は1時間30分とする。同点の場合は抽選とする。 ・ 決勝戦のみ、試合終了時に同点の場合は、1回のタイブレークを行なう。 ただし、1回を行なっても決着しない場合は抽選とする。 (注) 特別ルール(タイブレーク)とは 継続打順とし、前回の最終打者を 1塁走者とし 2塁の走者は 順次前の打者 (走者は投手を除いてもよい) として、無死1・2塁の状態にして 1イニングを行い、 得点の多いチームを勝ちとする。なお勝敗が決しない場合は、抽選とする。 ・ ベンチは、対戦表の左側を一塁側とする。 ・ メンバー表は、第1試合は7:30頃までに、第2試合以降は 前の試合の 4回終了時 または 試合予定時刻 30分前に、担当審判の 立会いのもとで行う。メンバー表は、6枚カーボンで 提出 のこと。 (メンバー記入用紙は、開催市が6チーム分用意)

(1/3)

各チームの選手・応援メールは、キャッチネットワークホームページ(<http://www.katch.co.jp>)でご紹介しております。

7. 試合要項
- ・ 試合中、審判員の判定に対するアピールは、監督 または 当事者が行う。
 - ・ 次打者は、必ず次打者席に入り、待機する。
 - ・ グラウンド内には、野球用具以外のものを持ち込んではいならない。
 - ・ 素振り用のバットやバットリングを持ち込んではいならない。
 - ・ 捕手は マスク、ヘルメット、プロテクター、レガース、ファールカップを、打者と走者およびコーチは、両耳付きヘルメットを必ず着用すること。また捕手は、投球練習時・ブルペン練習時にマスク・防具一式を着用すること。これらの用具は、金属バットとともにJSBB公認のものを使用すること。
 - ・ 事前に指定してある試合開始予定時刻は、アクシデントのない限り遅くともこの時間に プレーボールという 指示であるから、前の試合の進行状況により、早く開始される場合がある。
 - ・ ベンチ入りする指導者は6名までとし、大会前に その氏名を用紙に記入し、期限日までに事務局（キャッチネットワーク内に設置）に提出すること。一旦 ベンチ入りした 指導者は、試合終了時 まで ベンチを 出ないことを原則とする。
 - ・ ベンチ入りする 指導者のサングラス着用を禁止とする。
 - ・ 試合中の応援は、指定された応援席で、個人攻撃をせず、良いプレーには 相手側選手でも 拍手を送ることを指導する。また、自チームサイドの応援については、指導者は責任を持つこと。
 - ・ メガホンのベンチでの使用は、監督のみとする。
 - ・ 金属スパイク（アルミポイントを含む）の使用を禁止する。
 - ・ 選手交代は両軍ベンチ横の控え審判（一塁側1人、三塁側1人）に伝える。
8. 取り決め事項
- ・ ユニフォームの未着用者は、試合に参加できない。
 - ・ 健康上の理由で登録選手の出場が不可になった場合、選手の補充を可とする。（大会3日前までに事務局まで連絡願います。なお名簿等の変更はできない場合がございます。）
 - ・ 会場内はすべて禁煙とする。
 - ・ 危険なプレーを防止するため、バットの投げ捨て、危険なスライディングについては、1度目は警告、2度目からは退場させることがある。
 - ・ 大会役員、審判員は、原則として ベンチ入りを禁止する。ただし止むを得ない場合は、制服を脱いで入ること。

- | | |
|-----------|---|
| 8. 取り決め事項 | <ul style="list-style-type: none">・ ファールボールの処理については、一塁側は一塁ベンチ、三塁側は三塁ベンチで行い、ネット前は攻撃側で処理し、(攻撃側の場合)次打者または(守備側の場合)控え審判へ渡す。・ 投手の投球回数は、1試合 2イニングス以内 とし、1日の投球数は70球までとする(タイブレークも含む)。・ DHは使用しない。・ 試合間のグラウンド整備は、幹事市で行う。・ 各試合前のシートノックは行わない。・ 試合前の練習場は、球場横の河川敷グラウンドを使用する。
ただし、使用は次試合の2チームのみとする。・ 開会式、閉会式は行なわず、表彰式のみ行なう。・ 監督は選手全員が出場できるよう努める。 |
| 9. 大会使用球 | 全軟連公認球(ダイワマルエスJ号) |
| 10.費用負担 | なし |
| 11.そ の 他 | <ul style="list-style-type: none">・ 大会中の負傷等については、応急処置は致しますが、その後の責任は一切負いません(各チーム救急箱を用意)。・ 大会事務局は、株式会社 キャッチネットワーク内に置く。
また 開催市の学童野球事務局は、大会事務局を補佐して協力する。・ 雨天の場合は、当日午前6時にキャッチから各監督に「中止」の連絡をする。
連絡がない場合は、「決行」とする。 |